

令和4年度八尾市生活支援コーディネーター業務実施計画書（社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会）

長期目標	高齢者が、住み慣れた地域で安心して支え合って暮らし続けるための、地域の中の身近な助け合いの機会を増やしていくとともに、福祉分野に限らず専門職が地域活動と接点が増えるような場（協議体）の設定に取り組む。
短期目標	各日常生活圏域に1か所の協議体をモデル設置する。 また市域全体の高齢者を支える活動に関する情報を集め、関心のある市民が手軽に知る機会を作っていく。

1. 地域資源の把握

課題	計画・目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの影響で、以前のような定期的な地域活動はできず、対象者を限定した不定期な小規模な活動が多いため、活動情報を発信しづらい。</li> <li>・昨年度から開催している「シニア向け地域福祉オリエンテーション」や再編したシルバーリーダー養成講座での地域資源の紹介が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「シニア向け地域福祉オリエンテーション」のガイドブック掲載内容を充実させる。</li> <li>・そのためにも、高齢者が楽しめる施設や事業内容を一層調べる。</li> <li>・第1層協議体構成団体に対して、本事業を紹介し、情報交換を進めるなかで各団体の特徴を把握する。</li> </ul>

2. 地域資源の開発

課題	計画・目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの影響で、高齢者施設を活用した地域活動の展開は休止してしまい、再開にはまだ時間を要する。</li> <li>・地域住民による活動も、ふれあい喫茶型サロンなど飲食を伴う活動の中止が続いており、それに代わる活動メニューが生まれていない。</li> <li>・八尾市内を走る移動販売車「とくし丸」の需要が急に高まり、供給が追い付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食を中心とした活動はこれからも中止が続きそうなので、飲食しなくても楽しめる活動メニューを引き続き提案していく。</li> <li>・移動販売車「とくし丸」3台の動向をこれからも注視しながらも、それ以外の買い物支援についても地域ニーズを調べる。</li> </ul>

3. 関係者によるネットワークの構築

課題	計画・目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は移動販売車の導入に関する地域団体への説明や地域の中での困りごとを話し合い、解決策を考えるとといった目的が明確にある小規模の集まりは実施できたが、大掛かりな話し合いの場を作ることはまだ難しい。</li> <li>・オンラインの活用に向けて、支援者がさらにオンライン環境に慣れていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き地域の役員や担い手と活動の再開について話す機会を作り、困りごとの把握や関係構築に努める。</li> <li>・適宜オンライン会議を活用する。</li> <li>・昨年度試行した第1層協議体委員との意見交換の機会を増やしていく。</li> </ul>

4. 生活支援や介護予防の担い手の養成

課題	計画・目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者向けの「シニア向け地域福祉オリエンテーション」には、地域活動経験者も多く参加していた。活動経験者向けの講座も別に準備しているので、今後は対象者をより明確に示していく。</li> <li>・令和3年度はシルバーリーダー養成講座の再編のための打合せに参加し、新たな担い手発掘に努めたが広報が十分にできなかったせいか、参加人数に課題が残った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座ごとの対象者が明確になるよう、また参加者が計画的に参加できるように開催時期を工夫する。</li> <li>・どの講座についても、より幅広い市民の目に触れるように回覧板の活用やSCによる手配りなど、広報媒体の種類を増やしていく。</li> </ul>